

**令和6年三重県議会定例会
予算決算常任委員会総務地域連携交通分科会 説明資料**

目 次

◎議案補充説明

- 1 議案第4号 令和6年度三重県一般会計予算【地域連携・交通部関係】
について 1

- 2 議案第61号 令和5年度三重県一般会計補正予算（第10号）【地域連携・
交通部関係】について 21

◎所管事項

- 1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく
報告について 25

**令和6年3月11日
地域連携・交通部**

(議案補充説明)

1 議案第4号 令和6年度三重県一般会計予算【地域連携・交通部関係】
について

1 全体の予算状況

(単位:千円)

	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額 (R6-R5)
地域連携・交通部 計	(8,749,245) 8,425,730	(7,745,520) 7,557,343	(△1,003,725) △868,387
うちスポーツ推進局	2,328,720	2,032,344	△296,376
うち南部地域振興局	278,979	409,901	130,922

※上段()は2月補正予算を含む

2 施策別状況

(単位:千円)

施策 番号	施策名	令和5年度 当初予算額	令和6年度 当初予算額	増減額 (R6-R5)
9-1	市町との連携による地域活性化	1,320,465	1,276,610	△43,855
9-2	移住の促進	93,633	122,052	28,419
9-3	南部地域の活性化	81,186	90,427	9,241
9-4	東紀州地域の活性化	146,381	240,499	94,118
11-2	公共交通の確保・充実	(1,199,418) 1,033,067	1,105,348	(△94,070) 72,281
11-4	水の安定供給と土地の適正な利用	(706,642) 549,478	(842,655) 654,478	(136,013) 105,000
16-2	競技スポーツの推進	1,750,046	1,415,774	△334,272
16-3	地域スポーツと障がい者スポーツの推進	578,674	616,570	37,896
	行政委員会	864,302	13,860	△850,442
	人件費	2,008,344	2,021,571	13,227
	交際費	154	154	0
	地域連携・交通部 合計	(8,749,245) 8,425,730	(7,745,520) 7,557,343	(△1,003,725) △868,387

※上段()は2月補正予算を含む

3 予算調製にあたっての基本的な考え方

地域連携・交通部では、「公共交通の確保・充実」「地域の振興」「スポーツの推進」「県南部地域の活性化」に向け、市町等との連携を進めつつ、部局横断的・総合的な視点による地域活性化に取り組んでいます。

令和6年度においては、交通不便地域等における高齢者や若者などの移動手手段の確保や、人口減少対策として移住の促進に取り組めます。

また、選手等への支援や指導者の養成とともに、県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組めます。

さらに、7月には熊野古道が世界遺産登録20周年を迎えることから、その好機を逃すことなく伊勢路の魅力のさらなる向上と受入れ環境を整備し、来訪意欲の喚起に取り組めます。

4 主な重点項目

(1) 公共交通の確保・充実

予算額 1, 105, 348千円 [交通政策課 (224-2622)]
[広域交通・リニア推進課 (224-2805)]

鉄道やバスなどの地域公共交通は、自家用車を持たない高齢者の買い物や通院、若者の通学等に必要不可欠な移動手手段であり、その維持・確保に向けた取組を推進します。

地域公共交通に関する高齢者等のニーズや地域の実情の把握に努め、交通不便地域等における移動手手段の確保に向けた市町等の取組に対し、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援するとともに、地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組む市町を重点的に支援します。

また、交通事業者における深刻な運転士不足をふまえ、運転士募集フェアなど人材確保の取組や市町における一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入に向けた支援を実施します。

さらに、JR関西本線について、沿線自治体や事業者と連携して、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行などの利用促進や利便性の向上に向けた取組を実施するとともに、地域鉄道やバス路線などの維持・活性化に向け、引き続き、国や市町と協調し事業者を支援します。

リニア中央新幹線について、「三重県リニア基本戦略(仮称)」が示す「めざす三重の姿」の実現に向けた具体的な施策や事業への展開を図るため、「みえリニア戦略プラン(仮称)」の策定に着手するとともに、2037年全線開業の実現に向けた活動やリニアに対する一層の機運醸成に取り組めます。

〈主な事業〉

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| ① (一部新) 地域における移手段の確保に向けた総合対策事業 | (予算額 129,900千円) |
| ② (一部新) 鉄道活性化促進事業 | (予算額 22,940千円) |
| ③ 鉄道利便性・安全性確保等対策事業 | (予算額 151,257千円) |
| ④ 伊勢鉄道基盤強化等対策事業 | (予算額 191,018千円) |
| ⑤ 地方バス路線維持確保事業 | (予算額 345,000千円) |
| ⑥ (一部新) リニア中央新幹線関係費 | (予算額 27,841千円) |

(2) 移住の促進

予算額 130,390千円 [地域づくり推進課 (224-2351)]
[移住促進課 (224-2420)]

「選ばれる三重」となるため、関西圏・中京圏での県独自フェアの開催や全国フェアへの出展等を行うとともに、移住交流ポータルサイトの機能向上やマスメディア、SNSの活用など、市町や企業・団体と連携しながらプロモーションを強化します。

また、きめ細かな相談対応を引き続き行うとともに、転職希望者など新たな層を対象とした移住相談会やセミナーを開催し、相談対応を充実します。

さらに、移住者の不安軽減や県内定着を図るため、市町が実施するお試し住宅の整備や県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用の支援、移住者と地域をつなぐ人材の育成などを行い、移住者を受け入れる態勢の充実に取り組むとともに、東京圏からの移住を後押しする移住支援事業について、引き続き、市町と連携し実施します。

地域おこし協力隊については、定住・定着の促進に向けて、隊員のOB・OGで構成される「三重県地域おこし協力隊ネットワーク」と連携し、「募集・受入時」、「任期中」、「退任後」のそれぞれの段階で隊員や市町をサポートできるよう、支援体制を強化します。

〈主な事業〉

- | | |
|----------------------------|----------------|
| ① (一部新) 移住促進事業 | (予算額 74,032千円) |
| ② (一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業 | (予算額 48,020千円) |
| ③ (一部新) 地域おこし協力隊サポート事業 | (予算額 8,338千円) |

(3) 競技スポーツの推進

予算額 1,415,774千円 [スポーツ推進課 (224-2985)]
[競技力向上対策課 (224-2996)]

佐賀国スポ(国民スポーツ大会)に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます。また、全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します。

県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿」水泳場の空調熱源設備改修工事など、必要な改修・修繕を行うとともに、新型コロナの影響により減少した利用者数の回復を図るため、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます。

〈主な事業〉

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ① 競技力向上対策事業 | (予算額 407,000千円) |
| ② 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業 | (予算額 650,665千円) |
| ③ 三重交通G スポーツの杜 伊勢事業 | (予算額 167,544千円) |

(4) 地域スポーツと障がい者スポーツの推進

予算額 616,570千円 [スポーツ推進課 (224-2986)]

三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けて積み上げてきたレガシーを活用して、大規模大会等の誘致・開催や競技種目を定着させるための普及イベント等の実施に取り組む市町および競技団体等を支援します。

スポーツ推進月間(9、10月)のキックオフイベントとして、「みえのスポーツフォーラム」を開催します。また、総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行の促進を図ります。

子どもから高齢者まで幅広い県民の皆さんにさまざまなスポーツの場を提供するため、スポーツ推進月間を中心に、(一社)三重県レクリエーション協会や各競技団体等と連携して「みえスポーツフェスティバル」を県内各地域で開催します。また、ジュニア世代の発掘・育成や市町相互の交流・連携を図るため、市町等と連携し「第18回美し国三重市町対抗駅伝」を開催します。

〈主な事業〉

- | | |
|------------------------|-----------------|
| ① レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業 | (予算額 130,000千円) |
| ② (一部新) 地域スポーツ推進事業 | (予算額 61,170千円) |
| ③ 地域スポーツイベント開催事業 | (予算額 16,088千円) |

(5) 南部地域の活性化

予算額 90,427千円 [南部地域振興企画課 (224-2192)]

南部地域の活性化に向けて、地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、兼業や副業など多様で柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます。

また、南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による取組を支援し、地域の人びとが豊かに暮らし続けられる地域づくりを進めます。

<主な事業>

- | | | |
|---------------------------------|------|-----------|
| ① 南部地域の企業・魅力体感事業 | (予算額 | 4,107千円) |
| ② 地域づくり人材支援事業 | (予算額 | 4,054千円) |
| ③ (新) 南部の地域づくり連携推進事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 2,250千円) |
| ④ (新) 南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 8,246千円) |
| ⑤ (新) 多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度～令和8年度> | (予算額 | 10,509千円) |
| ⑥ ファンとともに南部地域の観光資源PR事業 | (予算額 | 3,282千円) |
| ⑦ 南部地域活性化基金支援事業 | (予算額 | 11,330千円) |

(6) 東紀州地域の活性化

予算額 240,499千円 [東紀州振興課 (224-2193)]

熊野古道の世界遺産登録20周年を記念し、国際シンポジウムの開催や首都圏をはじめとした都市部でのプロモーション等を行うとともに、古道来訪者のための二次交通の利便性向上に向けた調査、実証運行や宿泊施設等を一元的に案内するWebサイト構築、仮設トイレの設置等により、来訪者が安全快適に歩ける環境を整備し、古道の魅力のさらなる向上と来訪意欲の喚起に取り組みます。

また、奈良県、和歌山県等と連携しながら、東紀州地域への誘客を促進するとともに、観光業および第一次産業を含めた関連産業の振興を図ります。

<主な事業>

- | | | |
|--|------|-----------|
| ① (新) 熊野古道世界遺産登録20周年事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度> | (予算額 | 33,677千円) |
| ② (新) 熊野古道伊勢路受入環境整備事業 | | |
| <事業実施期間：令和6年度> | (予算額 | 41,500千円) |
| ③ (一部新) 熊野古道活用促進事業 | (予算額 | 31,955千円) |
| ④ (一部新) Easy Access to 東紀州! プロジェクト推進事業 | | |
| | (予算額 | 29,448千円) |
| ⑤ 東紀州地域振興推進事業 | (予算額 | 10,255千円) |
| ⑥ 選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業 | | |
| | (予算額 | 11,259千円) |

公共交通の確保・充実 ①

予算額 1,105,348千円

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア 224-2805
推進課

- 交通不便地域等における高齢者や若者等の移動手段の確保が喫緊の課題であることから、地域のニーズをきめ細かく把握するとともに、市町等における移動サービスの導入・定着などの取組を支援します
- 交通事業者における深刻な運転士不足をふまえ、事業者や市町と連携して運転士確保の取組を支援します

地域内交通

(一部新) 地域における移動手段の確保に向けた総合対策事業 (129,900千円)

高齢者等の移動ニーズ把握 (9,730千円)

新 地域座談会の開催

- ・高齢者等の意見交換を通して地域の実情やニーズをきめ細かく把握
- ・市町と連携し、地域の寄り合いの場などを活用して座談会を開催



新 地域の輸送サービスの分析・検討

- ・各地域の輸送サービスの現状・課題を把握、対応策を検討(国・県・市町の課長検討会)
- ・県内29市町との交通施策検討会を実施(自家用有償旅客運送制度など)

移動手段の導入 (100,000千円)

○ 移動手段の確保・乗継環境整備への支援

- ・市町等の取組を、調査から実証事業、定着まで切れ目なく支援(1~3か年程度)

1年目: 調査+実証事業



2年目: 検証+本格運行



3年目: 検証+定着



新 交通結節点での待合所など乗継環境整備を支援

新 地域の特性などの状況に応じて、交通ネットワークの構築に取り組む市町を重点支援

運転士不足への対応 (19,000千円)

新 運転士確保の取組

- ・深刻な運転士不足をふまえ、交通事業者と連携して運転士募集フェアなど人材確保の取組を支援
- ・一般ドライバーを活用した輸送サービスの導入の検討、ドライバーの養成などを支援
- ・各市町が取り組む自動運転の導入への支援



公共交通の確保・充実 ②

予算額 1,105,348千円

交通政策課 224-2622
広域交通・リニア推進課 224-2805

- 通勤や通学など日常生活の移動手段である鉄道やバス路線の維持・活性化のため、市町等と連携して利用促進などに取り組むとともに、国や市町と協調して支援します
- リニア中央新幹線の2037年全線開業の実現に向けて関係者と連携して取り組むとともに、行動計画となる「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定に着手します

広域交通ネットワーク

（一部新）鉄道活性化促進事業（22,940千円）

- 鉄道の維持・活性化のため、沿線自治体で構成する協議会において連携して要望活動や利用促進の取組を実施
- JR関西本線（亀山～加茂間）の維持・活性化のため、「関西本線活性化利用促進三重県会議」において、大都市と沿線地域を結ぶ列車の実証運行や沿線市が取り組む駅からの二次交通の充実に向けた実証事業の支援など、利用促進や利便性の向上に向けた取組を実施

鉄道利便性・安全性確保等対策事業（151,257千円）

- 鉄道事業者が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国や沿線市町と協調して支援

伊勢鉄道基盤強化等対策事業（191,018千円）

- 伊勢鉄道（株）が実施する安全性・利便性の向上を図るための施設整備等について、国の補助金も活用して支援

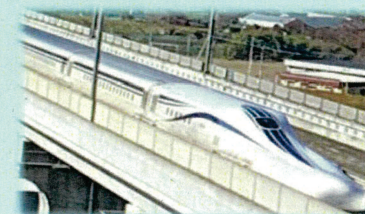
地方バス路線維持確保事業（345,000千円）

- 地域間幹線系統バスの運行経費等に国と協調して補助を実施
- 県および市町の地域公共交通会議等において地域公共交通の活性化に向けた取組を実施



（一部新）リニア中央新幹線関係費（27,841千円）

- 「みえリニア戦略プラン（仮称）」の策定及び必要な調査を実施
- 名古屋・大阪間の環境アセスの着実な推進と一日も早い全線開業実現に向けた活動を実施
- リニアを中心とした新たな広域交通ネットワーク構築に向けた機運醸成の取組を実施



時速500kmのスピードでつながる
日本の新たな大動脈



令和5年度リニア建設促進
三重県期成同盟会総会

移住の促進

予算額 130,390千円

地域づくり推進課 224-2351
移住促進課 224-2420

- 人口減少対策における社会減対策の1つである移住・人口還流の促進に向けて、移住希望者から「選ばれる三重」となるため、プロモーションの強化を図るほか、新たな層を対象とした相談対応を充実させます
- 住まいの充実に取り組む市町の支援や、地域おこし協力隊の定住・定着促進に向けた支援体制を強化し、移住者を受け入れる態勢を充実させます

移住の促進と定住・定着に向けた取組の充実

(一部新) 移住促進事業 (74,032千円)

プロモーションの強化

- 関西圏・中京圏で県独自の移住フェアを開催
- ①しごとや地域づくりなど三重ならではの暮らし体験を企業と連携して実施
- ②閲覧者が求めている情報を一体的に入手できるよう、ポータルサイトを改修
- マスメディアやSNS等を活用した情報発信
- 三重の人や暮らしとつながるオンラインコミュニティ「日々三重」での交流を促進

相談対応の充実

- 移住相談窓口を中心としたきめ細かな相談対応
- 転職希望者など新たな層を対象とした移住相談会・セミナーを開催



(一部新) 移住者を受け入れる態勢の充実支援事業

インフラ(住まい)の整備

(48,020千円)

- ①お試し住宅の整備に取り組む市町を支援
- ②県外からの移住者に対する空き家リフォーム費用を支援(県土整備部が実施する既存事業への上乗せ)

受入態勢の充実

- 移住者と地域をつなぐ人材を育成する講座を開催
- 東京圏から移住・就職した人等を対象に、市町と連携して移住支援金を支給

(一部新) 地域おこし協力隊サポート事業 (8,338千円)

定住・定着促進に向けた支援体制強化

- ①募集・受入 任用時のミスマッチ解消に向けた市町への伴走支援
- ②任期中 隊員間のつながりづくりのための交流会を実施
- ③退任後 定住に向けた相談窓口を設置
- 隊員・市町職員向けの研修会を実施



競技スポーツの推進

予算額 1,415,774千円

スポーツ推進局
スポーツ推進課 224-2985
競技力向上対策課 224-2996

- 佐賀国スポ（国民スポーツ大会）に向け、成年・少年選手の強化活動を支援するとともに、次代を担うジュニア・少年選手の発掘・育成や優れた指導者の養成に取り組みます
- 全国大会や国際大会での活躍をめざすパラアスリートの強化活動を支援します
- 県営スポーツ施設について、利用者がより安全・安心に利用できる環境を提供するため、必要な改修・修繕を行います。また、指定管理者と連携し、より良いサービスの提供に取り組みます

競技力の向上

競技力向上対策事業（407,000千円）

選手・チームの強化

- 育成・強化してきた選手・チームの強化活動を支援
- チームみえ国スポ選手強化事業（177,000千円）
 - 大学運動部、企業・クラブチーム強化指定事業（12,600千円）



ジュニア・少年選手の発掘・育成

- 国内外の大会での活躍が期待できるジュニア・少年選手の強化活動を支援
- チームみえジュニア育成事業（30,000千円）
 - ジュニアクラブ・運動部強化指定事業（4,500千円）



指導者の養成

- 幅広い世代で指導者を養成し、一貫指導体制を構築
- チームみえトップ指導者養成事業（24,810千円）

パラアスリートの強化

- 国際・全国大会で活躍できるパラアスリートの強化活動を支援
- パラリンピック等選手強化指定事業（8,700千円）

本県ゆかりのアスリートの活躍

スポーツ施設の充実

三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業 （650,665千円）

- ・施設の効率的・効果的な管理運営 391,271千円
- ・水泳場の空調熱源設備改修工事など 259,394千円

三重交通G スポーツの杜 伊勢事業 （167,544千円）

- ・施設の効率的・効果的な管理運営 102,916千円
- ・第二陸上競技場写真判定装置更新など 64,628千円



安全・安心な環境、より良いサービスの提供

地域スポーツと障がい者スポーツの推進

予算額 675,784千円 (うちスポーツ推進局分 616,570千円)

スポーツ推進局

スポーツ推進課 224-2986

- 大規模大会等の誘致・開催、スポーツイベントの開催等に取り組む市町・競技団体等を支援します
- 県民の皆さんがスポーツにふれ親しむ機会の拡充に取り組みます
- **総合型地域スポーツクラブ**について、中学校部活動の地域移行の受け皿の一つとされていることもふまえ、**取組を強化します**
- 障がいの有無に関わらず、**身近な地域でスポーツを楽しむことができる環境づくり**や、**障がい者スポーツに取り組む機会の充実、選手の発掘や支える人材の養成等**に取り組みます

地域スポーツの推進

レガシーを活用した みえのスポーツ支援事業 (130,000千円)

- ・ 市町・競技団体等が実施する国際大会、全国大会等の大規模大会の開催やスポーツ教室の開催等に必要な経費を支援



▲国際大会の開催

スポーツによるまちづくり

(一部新) 地域スポーツ推進事業 (61,170千円) 地域スポーツイベント開催事業 (16,088千円)

- ・ 「みえのスポーツフォーラム」、「みえスポーツフェスティバル」、「第18回美し国三重市町対抗駅伝」を開催



▲みえスポーツフェスティバル ▲美し国三重市町対抗駅伝

- ・ 総合型地域スポーツクラブの質的充実のため、専属のクラブアドバイザーを設置するとともに、体験会や地区別研修会を開催し、中学校部活動の地域連携・地域移行を促進

運動・スポーツにふれ親しむ環境づくり

障がい者スポーツの推進

障がい者スポーツの裾野の拡大 【子ども・福祉部】 (59,214千円)

- ・ 「三重県障がい者スポーツ支援センター」において、県民・企業等からの相談対応、SNS等を通じた情報発信、障がい者スポーツ団体と企業等のニーズのマッチング
- ・ 選手の発掘に向けた初心者講習会、指導員の養成研修の実施
- ・ 競技団体の遠征費の補助 など



▲三重県障がい者スポーツ支援センターホームページ

障がい者スポーツの裾野の拡大

南部地域の活性化

予算額 90,427千円

南部地域振興局
南部地域振興企画課
224-2192

- 「三重県南部地域振興プラン」の3つの取組方向に基づき、南部地域への愛着・誇りの醸成や地域との関係性の継続、兼業や副業など多様な柔軟な働き方の創出、および地域内の人材育成と関係人口の深化・拡大等に取り組みます
- 南部地域活性化基金を活用して、複数市町の連携による南部地域の活性化に向けた取組を支援します

1. 若者の定着・人口の還流に向けて

南部地域の企業・魅力体感事業（4,107千円）

- 南部地域外へ進学・就職した若者を対象とした、南部地域の企業見学および地域で活躍している方々との交流バスツアーを実施

地域づくり人材支援事業（4,054千円）

- 南部地域出身の学生等を対象とした、地域課題（賑わいの創出等）の解決や、地域への愛着の醸成に向けた長期フィールドワークを実施

（新）南部の地域づくり連携推進事業（2,250千円）

- 県土整備部と連携し、空き家の非住宅（店舗等）への改修費及び除却費を支援



南部地域活性化 基金支援事業 （11,330千円）

- 田舎暮らし体験、観光促進、出逢い支援、関係人口創出など、南部地域の活性化に寄与する事業に連携して取り組む市町を支援

2. 地域産業の活力向上に向けて

（新）南部地域における持続可能な第一次産業をめざして事業（8,246千円）

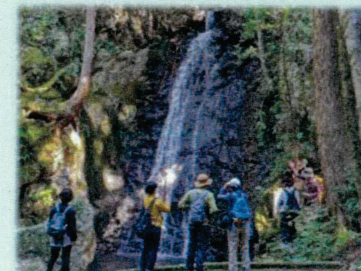
- 南部地域における副業のしくみづくりのための南部地域の現状および先進事例を調査
- 都市部の飲食店、百貨店のバイヤー等を対象としたツアーを通じた特産品プロモーションを実施



3. 賑わいのある南部地域に向けて

（新）多様な人材が集う「賑わい」の維持・創出事業（10,509千円）

- 農林水産業や地域の祭りのお手伝いをきっかけにした企業と地域との関係づくり
- 地域で活躍する人びとを対象とした連続講座の開催による地域や世代を超えた人材のネットワークを形成



ファンとともに南部地域の観光資源PR事業（3,282千円）

- ファンやマニアとともにを行う観光コンテンツの磨き上げを通じた、住民が主体となった地域づくり活動を促進



東紀州地域の活性化～熊野古道世界遺産登録20周年事業～

予算額 240,499千円

南部地域振興局
東紀州振興課 224-2193

- 熊野古道の世界遺産登録20周年を記念し、国際シンポジウムの開催等を行うとともに、古道来訪者のための二次交通の利便性向上に向けた調査、実証運行や宿泊施設等を一元的に案内するWebサイト構築、仮設トイレの設置等により、来訪者が安全・快適に歩ける環境を整備し、古道の魅力のさらなる向上と来訪意欲の喚起に取り組みます
- 奈良県、和歌山県等と連携しながら、東紀州地域への誘客を促進するとともに、観光業および第一次産業を含めた関連産業の振興を図ります

熊野古道の未来への継承と活用 (218,985千円)

(新) 熊野古道世界遺産登録20周年事業 (33,677千円)

- 熊野古道世界遺産登録20周年を記念し、スペイン・バスク自治州から巡礼道の保全関係者等を招いた国際シンポジウムの開催等を実施

(新) 熊野古道伊勢路受入環境整備事業 (41,500千円)

- 熊野古道伊勢路周辺の宿泊施設等を一元的に案内する英語にも対応したWebサイトを構築、沿道の環境や古道を安全・快適に歩ける環境を整備

(一部新) 熊野古道活用促進事業 (31,955千円)

- 熊野古道伊勢路の世界遺産登録20周年において、「歩き旅」のブランディングを推進するため、伊勢路踏破ウォークの開催や伊勢路の価値や魅力の国内外への発信等により誘客を促進
- 古道を快適に歩けるよう、トイレ等の状況を調査、仮設トイレを設置
- 熊野古道サポーターズクラブの活動や熊野古道一斉クリーンアップ作戦を実施

(一部新) Easy Access to東紀州!プロジェクト推進事業 (29,448千円)

- 熊野古道への来訪時における二次交通の利便性を向上させるため、運行ルートや手法について調査し、実証運行を実施
- 和歌山県等との広域連携による観光客の受入環境整備や、(一社)東紀州地域振興公社等と連携して外国人旅行者の誘客促進や体験型コンテンツの造成等を実施

熊野古道伊勢路における拠点滞在型観光の推進

※観光部の拠点滞在型観光推進事業の一部

熊野古道伊勢路における受入環境整備事業 (9,557千円)

- 伊勢路「歩き旅」を促進する取組として、既存の鉄道、バス等の地域公共交通を最大限利用した古道歩きのコースを設定、デモツアーを実施
- 1日で歩けるルート設定、ガイドマップ等の作成、サイト掲載や来訪者が利用できる環境づくりを実施

地域資源を生かした持続可能な地域社会づくり (21,514千円)

東紀州地域振興推進事業 (10,255千円)

- 市町をはじめとする関係団体と連携を図りながら、観光振興、産業振興等の面から総合的に地域づくりを推進する(一社)東紀州地域振興公社の取組を支援

選ばれる東紀州地域を目指して産業活性化支援事業 (11,259千円)

- 地域の資源を生かした商品のブランド力強化や高付加価値化、販路拡大、観光サービスのブラッシュアップ、観光産業ツアー等の取組や、地域産業の活性化を促進するための基盤づくり等の取組を支援



5 その他の主要事業

政策名、施策名および事業の内容	
《政策名：地域づくり》	
〈施策名：(9-1)市町との連携による地域活性化〉	
1 持続可能な地域コミュニティづくり推進事業	2,775千円
【(9-1-1) 市町との連携・協働による地域づくり】	
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)	
「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」の仕組みを活用し、住民が主体となった地域のコミュニティづくりがより多くの地域に広がるように取り組むとともに、将来の担い手となる若者を育てるため、地域づくり団体等において地域活動を体験する機会を提供し、若者が地域づくりの経験を積む取組を進めます。	
2 市町振興事務費	5,971千円
【(9-1-2) 市町行財政運営の支援】	
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 2 市町振興費)	
市町が今後も安定的な行財政運営を継続的に行うことができるよう、地方自治制度、地方公務員制度、地方財政制度の適正な運用に加え、公共施設等の適正管理の推進など、行財政運営の改善につながる取組についても必要な支援を行います。	
3 木曾岬干拓地整備事業	130,657千円
【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】	
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)	
伊勢湾岸自動車道以南の都市的土地利用の方向性の提示に向けて取組を進めるとともに、道路等の基盤整備に向けて関係者との調整を進めます。	
4 (一部新) 特定振興地域推進事業	30,573千円
【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】	
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)	
大仏山地域に整備した散策路等を適切に維持管理し利用促進等に取り組めます。また、宮川の流量回復については、宮川ダム直下から三瀬谷ダム間において、関係者から要望がある河川環境等について調査を行うとともに、利水者などの関係者や流域市町との意見交換を進めながら、より良い流況に向けて取り組めます。	

政策名、施策名および事業の内容

- 5 奥伊勢湖環境保全対策協議会負担金 5,000 千円
【(9-1-3) 木曾岬干拓地等の利活用の推進】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
奥伊勢湖環境保全対策協議会に参画し、奥伊勢湖の豊かな自然環境を守るための活動を支援します。
- 6 (一部新) 地域活性化支援事業 3,281 千円
【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
過疎地域等の市町が実施する住民の身近な生活課題を解決するための取組や地域活性化のための取組に対し補助金を交付します。また、過疎地域等において、市町職員や集落支援員が住民主体の持続可能な地域づくりの手法を学ぶ研修や、地域課題解決に向けたアドバイザー派遣を実施します。
- 7 離島航路船舶新造事業補助金 38,500 千円
【(9-1-4) 過疎地域等における地域づくり】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
離島住民の生活基盤の安定化と離島の自立的発展を促すため、離島航路事業者に対し、新船建造費の一部を補助し離島航路の維持確保を図ります。

〈施策名：(9-3) 南部地域の活性化〉

- 1 (一部新) 南部地域活性化基金積立金 45,201 千円
【(9-3-1) 豊かに暮らし続けられる南部地域づくり】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
南部地域の振興に向け、複数市町が連携して取り組む事業を支援するとともに、関係部局と連携した若者の定着等に資する事業を実施するため、基金に積み立てを行います。

〈施策名：(9-4) 東紀州地域の活性化〉

- 1 東紀州地域集客交流推進事業 78,080 千円
【(9-4-2) 熊野古道の未来への継承と活用】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 1 地域振興費)
熊野古道センターにおいて、熊野古道をはじめとした東紀州地域の歴史・文化、自然等を地域内外に発信するとともに、集客交流を促進します。また、常設展示のリニューアルに向けて、設計を行います。

政策名、施策名および事業の内容

《政策名：交通・暮らしの基盤》

〈施策名：(11-2) 公共交通の確保・充実〉

- 1 地域交通体系整備基金積立金 216,960 千円
【(11-2-1) 地域の輸送資源の総動員による持続可能な移動手段の確保】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)
伊勢鉄道株式会社の施設整備に活用する「三重県地域交通体系整備基金」について、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急的に令和2年度から令和4年度までの経営支援に活用していることから、その支援金額分を基金に積み直します。
- 2 航空関係費 19,651 千円
【(11-2-2) リニア開業時の県内広域交通網の確保・充実に向けた取組の推進】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 4 交通政策費)
「中部国際空港利用促進協議会」や「関西国際空港全体構想促進協議会」の活動を通じ、両空港の利用促進に取り組むとともに、中部国際空港の大規模補修を行うための代替滑走路早期整備に向けた取組を支援します。

〈施策名：(11-4) 水の安定供給と土地の適正な利用〉

- 1 工業用水道事業会計出資金 304,927 千円
【(11-4-1) 水資源の確保と水の安全・安定供給】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費)
県勢振興のために確保している水源の工業用水に係る管理費等について、一般会計から工業用水道事業会計に出資します。
- 2 地籍調査費負担金 296,560 千円
(484,737 千円 ※R5年度2月補正予算含みベース)
【(11-4-2) 適正な土地の利用および管理】
(第2款 総務費 第6項 地域振興費 5 資源対策費)
土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍調査を実施する市町に対して、その取組を支援します。

政策名、施策名および事業の内容

《政策名：文化・スポーツ》

《施策名：(16-2) 競技スポーツの推進》

- 1 国民スポーツ大会派遣事業 117,623 千円
【(16-2-1) 競技力の向上】
(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 1 スポーツ推進費)
国民スポーツ大会および東海ブロック大会に、本県代表選手・監督等を派遣します。
- 2 ドリームオーシャンスタジアム事業 27,571 千円
【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】
(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)
指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、老朽化したグラウンド整備機器を更新し、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。
- 3 県営ライフル射撃場事業 24,366 千円
【(16-2-3) 安全、快適なスポーツ施設の提供】
(第2款 総務費 第12項 スポーツ推進費 2 スポーツ施設費)
指定管理者制度に基づいて、効率的・効果的な管理運営やサービスの充実を図るとともに、多機能トイレ整備工事など、安全、快適に利用できる環境の整備を行います。

《民主的かつ公正中立な行政運営（行政委員会）》

- 1 明るい選挙推進費 6,890 千円
【適正な選挙の管理執行】
(第2款 総務費 第7項 選挙費 2 選挙啓発費)
全体投票率と比較して低い傾向にある若者に選挙を身近に感じてもらうため、小学生から大学生等の各年代に向けた選挙啓発リーフレットを新たに作成し、配布するなど、若者の投票率向上に向けた取組を行います。

6 債務負担行為一覧表

(単位：千円)

事 項	期 間	限度額
三重県立熊野古道センターの指定管理に係る協定	令和6年度～令和11年度	365,335
三重交通G スポーツの杜 鈴鹿 水泳場空調熱源設備改修工事に係る契約	令和7年度	241,493
「みえリニア戦略プラン(仮称)」策定業務委託に係る契約	令和7年度	20,000
宮川上流域河川環境改善業務委託に係る契約	令和6年度～令和7年度	15,000
木曾岬干拓地整備事業環境影響評価事後調査業務委託に係る契約	令和7年度	10,290
住民基本台帳ネットワークシステムにおける代表端末等の運用管理支援委託に係る契約	令和7年度	7,854
住民基本台帳ネットワークシステムにおける代表端末等のハウジングに係る契約	令和7年度	1,410
住民基本台帳ネットワークシステムにおける代表端末等の機器保守委託に係る契約	令和7年度	1,079

三重県立熊野古道センター指定管理者制度活用の方針

1 指定管理者を更新する施設

(1) 指定管理者制度活用の目的（期待する効果）

県では、三重県立熊野古道センター（以下「センター」という。）の管理について、民間事業者等が持つ知恵や豊富な知識などを効果的に活用することにより、センターの効用を最大限に発揮させ、もって県民サービスの向上と経費の削減を図るとともに、県が目指す施策の実現に寄与するため、指定管理者制度を活用します。

(2) 施設の設置目的（役割）

センターは、平成16年7月、ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」のうち、三重県内の指定地（以下「熊野古道」という。）に関する歴史、自然、文化等を紹介するとともに、熊野古道やその周辺地域に関する活動及び交流の場の提供などを行うことにより、地域の振興に寄与することを目的として設置しています。

(3) 施設運営の基本的な方向性（運営方針）

センターは、熊野古道とその周辺地域の魅力を国内外に発信するとともに、熊野古道全般に関する窓口として利用者目線に立った情報提供を行い、人及び情報の交流を深める拠点となることを目指して、一層効果的な管理運営を図っていきます。

(4) 施設の概要

ア	施設の名称	三重県立熊野古道センター
イ	所在地	三重県尾鷲市大字向井字村島12番4
ウ	構造規模等	
	敷地面積	33,265.98 m ²
	延床面積	2,429.33 m ²
		(交流棟 852.93 m ² 、展示棟 852.93 m ² 、研究収蔵棟 723.47 m ²)
	構造	木造平屋建て（交流棟及び展示棟） 鉄筋コンクリート平屋建て（研究収蔵棟）

(5) 指定管理者が行う業務の範囲（業務内容、要求水準、成果目標等）

指定管理者が行う業務の具体的な内容は、次のとおりです。

なお、指定管理者が業務の遂行にあたり、県民に提供するサービスの水準を確保するため、個々の業務区分ごとに具体的な「要求水準」を募集要項の中で定めるとともに、業務の質の向上を図るため、次の「成果目標」を定めることを予定しています。

ア 業務の内容

- (ア) 熊野古道の歴史、自然及び文化に関する資料の収集、保管及び展示に関する業務
- (イ) 熊野古道及びその周辺地域に関する情報の収集及び提供に関する業務
- (ウ) 交流会、体験学習会等人及び情報の交流に関する業務
- (エ) 施設の利用許可等に関する業務
- (オ) 利用に係る料金の収受に関する業務
- (カ) 施設の維持管理に関する業務
- (キ) その他センターの管理運営上必要と認める業務

イ 成果目標

- (ア) 来場者数 115,000 人
- (イ) 施設稼働率 65%
- (ウ) 利用者満足度 95%

(6) 利用料金制採用の考え方

センターの管理運営にあたっては、指定管理者の民間的発想に基づく柔軟かつ機動性のある経営を引き出し、多様な県民ニーズに対応できるサービス提供や効率的な施設運営を目指して、利用料金制（地方自治法第 244 条の 2 第 8 項の「利用料金」をいう。）を採用します。

(7) 指定の期間（予定）

指定の期間は、令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日までの 5 年間を予定しています。

(8) 指定管理者に支払う施設管理経費の上限額

指定期間中における指定管理料の総額は、次に示す額を上限とします。指定管理料の総額 365,335 千円（5 年間）（消費税及び地方消費税を含む。）

（内訳）各年度における指定管理料概算額

令和 7 年度	73,067 千円
令和 8 年度	73,067 千円
令和 9 年度	73,067 千円
令和 10 年度	73,067 千円
令和 11 年度	73,067 千円

2 指定管理者の募集及び選定等に関する事項

(1) 募集の方法

広く民間事業者等のノウハウを活用し、より一層の効果的・効率的な管理運営を図るため、指定管理者を公募により選定する予定です。

(2) 選定委員会の構成と委員選定の視点

指定管理候補者の選定にあたり、その選定過程や手続きの透明性・公正性を高めていくため、県職員以外の有識者等で構成する「三重県立熊野古道センター指定管理者選定委員会（以下、「選定委員会」という。）」を設置します。

選定委員会は、学識、経験、男女比などを考慮した上、経営に関する有識者、施設利用代表者・地域住民代表者（公募により選定）などによる5名の民間委員で構成することを予定しています。

(3) 審査の方法及び審査基準等の考え方

選定委員会では、応募者から提出された事業計画書等についてヒアリングを実施した上で、次の選定基準等に基づき総合的な審査を行います。

県は、選定委員会の審査結果を踏まえ、最適と認められる応募者を指定管理者の候補者として選定します。

〔選定基準〕

- ①事業計画の内容が、県民の平等な利用を確保することができるものであること。
- ②事業計画の内容が、センターの施設等の適切な維持管理を図ることができるものであること。
- ③事業計画の内容が、センターの施設の効用を最大限発揮できるものであり、県民サービスの向上を図ることができるものであること。
- ④事業計画の内容が、センターの施設等の管理に係る経費の縮減を図るものであること。
- ⑤指定を受けようとするものが、事業計画に沿った管理を安定して行うために必要な人員及び財政的基盤を有していること。

なお、詳細な審査基準、配点については、選定委員会で決定します。

3 今後の日程に関する事項（予定）

令和6年	2月	2月定例会議へ債務負担行為設定の予算議案を提出
	5月～	選定委員会の開催（審査基準、配点表等を決定）
	6月	募集開始
	10月	選定委員会による審査 9月定例会議へ指定管理候補者の選定状況を報告
	11月	指定管理候補者の決定 11月定例会議へ指定管理者指定議案を提出
令和7年	1月	指定管理者の指定
	2月	指定管理者と協定締結
	4月	指定管理者による施設管理開始

(議案補充説明)

2 議案第61号 令和5年度三重県一般会計補正予算(第10号)
【地域連携・交通部関係】について

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	補正後の予算額
第2款 総務費	9,484,374	△1,172,350	8,312,024
合 計	9,484,374	△1,172,350	8,312,024

令和5年度三重県一般会計補正予算(第10号) 主要項目一覧表

(単位:千円)

款 項 目	事 業 目	補正前の額	補正額	補正後の 予算額	補正の概要
一般会計 (第2款)		9,484,374	△ 1,172,350	8,312,024	
総務費		9,484,374	△ 1,172,350	8,312,024	
(第6項)					
地域振興費		6,117,628	△ 431,515	5,686,113	
(第1目)					
地域振興費		2,794,508	△ 55,038	2,739,470	
	過疎・離島等振興対策費	56,450	11,329	67,779	
	離島航路支援事業費	34,445	13,200	47,645	離島航路整備事業補助金等の所要見込額の精査による増
(第4目)					
交通政策費		1,667,574	△ 352,159	1,315,415	
	生活交通活性化促進事業費	1,098,730	△ 146,065	952,665	
	地方バス路線維持確保事業費	345,000	△ 86,489	258,511	三重県地域間幹線系統確保維持費補助金の所要見込額の精査による減
	交通事業者燃料価格高騰等対策支援事業費	624,148	△ 56,416	567,732	交通事業者燃料価格高騰等対策支援補助金の所要見込額の精査による減
	広域鉄道維持確保対策事業費	488,717	△ 186,370	302,347	
	伊勢鉄道基盤強化等対策事業費	288,680	△ 176,587	112,093	地域交通体系整備費補助金等の所要見込額の精査による減
(第7項)					
選挙費		901,467	△ 373,974	527,493	
(第5目)					
県議会議員選挙費		854,711	△ 370,541	484,170	
	県議会議員選挙費	854,711	△ 370,541	484,170	
	県議会議員選挙費	854,711	△ 370,541	484,170	県議会議員選挙の執行に伴う所要額の減
(第12項)					
スポーツ推進費		2,465,279	△ 366,861	2,098,418	
(第1目)					
スポーツ推進費		1,291,322	△ 154,707	1,136,615	
	体育スポーツ振興基金積立金	448,558	△ 64,430	384,128	
	体育スポーツ振興基金積立金	448,558	△ 64,430	384,128	法人県民税超過課税分の減額等による積立金の減
	地域スポーツ推進事業費	173,861	△ 51,187	122,674	
	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業費	110,000	△ 50,353	59,647	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金の所要見込額の精査による減
	競技力向上対策事業費	667,291	△ 38,571	628,720	
	国民体育大会派遣事業費	150,133	△ 34,334	115,799	PCR検査費用等の所要見込額の精査による減
(第2目)					
スポーツ施設費		1,173,957	△ 212,154	961,803	
	スポーツ施設整備運営費	1,173,957	△ 212,154	961,803	
	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿事業費	978,630	△ 204,009	774,621	サッカー・ラグビー場メイングラウンド等の照明LED化工事に係る工事請負費等の減

令和5年度三重県一般会計補正予算(第10号) 繰越明許費一覧表

(単位:千円)

事業名	繰越額	説明
〔木曾岬干拓地整備事業費〕 木曾岬干拓地整備事業費	79,950	<p>環境影響評価調査業務において、関係者との協議により追加調査が必要となったことから、年度内の完了が見込めないため(20,476千円)</p> <p>アクセス道路整備設計業務において、道路管理者協議に不測の日数を要したことから、年度内の完了が見込めないため(59,474千円)</p>

(変更)

(単位:千円)

事業名	繰越額	説明
〔県土基礎調査推進事業費〕 地籍調査費負担金	(補正前) 188,177 (補正後) 214,262	<p>土地所有者の特定等に不測の日数を要したことから、年度内の完了が見込めないため</p>

(所管事項)

1 「三重県における補助金等の基本的な在り方等に関する条例」に基づく報告について

条例第5条関係について

・ 予算に関する補助金等に係る資料（第1号様式）

・・・・・・・・・・・・・・・・

頁

26

予算に関する補助金等に係る資料

(部局名:地域連携・交通部) (単位:千円)

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
4	地籍調査費負担金	四日市市 四日市市諏訪町1番5号	23,340 (R6.4)	県土の開発、保全、利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図る場合に補助する。	(目的・理由) 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍の明確化を図る。 社会資本整備を計画している地域において、用地取得の円滑化を図るとともに土地境界情報を整備しておくことで事前防災・減災に貢献する。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	公共財 土地の境界を明確にすることにより、公共事業の促進が図れるなどの公共性を有する。	水資源・地域プロジェクト課	総務費	地域振興費	資源対策費	県土基礎調査推進事業費
5	同上	名張市 名張市鴻之台1番町1番地	26,235 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
6	同上	亀山市 亀山市本丸町577番地	10,125 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
7	同上	鳥羽市 鳥羽市鳥羽3丁目1番1号	28,125 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
8	同上	志摩市 志摩市阿児町鵜方3098-22	13,041 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
9	地籍調査費負担金	川越町 三重郡川越町大字 豊田一色280番地	13,170 (R6.4)	県土の開発、保全、利用の高度化に資するため、地籍の明確化を図る場合に補助する。	(目的・理由) 土地取引の円滑化や土地資産の保全、災害復旧の迅速化等に資するため、地籍の明確化を図る。 社会資本整備を計画している地域において、用地取得の円滑化を図るとともに土地境界情報を整備しておくことで事前防災・減災に貢献する。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	公共財 土地の境界を明確にすることにより、公共事業の促進が図れるなどの公益性を有する。	水資源・地域プロジェクト課	総務費	地域振興費	資源対策費	県土基礎調査推進事業費
10	同上	玉城町 度会郡玉城町田丸 114-2	13,170 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
11	同上	御浜町 南牟婁郡御浜町大字 阿田和6120番地 1	23,634 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
12	同上	紀宝町 南牟婁郡紀宝町鶴 殿324番地	15,063 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
13	鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金	三岐鉄道株式会社 四日市市富田3丁目22番83号	44,750 (R6.4)	鉄道事業者が行う安全性の向上のために必要な設備整備等に要した経費の一部を国、沿線市町と協調して補助する。	(目的・理由) 鉄道事業者の安全な鉄道輸送の確保を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 地域住民にとって必要不可欠な公共交通機関である鉄道の安全性の向上を図る。	交通政策課	総務費	地域振興費	交通政策費	生活交通活性化促進事業費
14	同上	四日市市 四日市市諏訪町1番5号	27,060 (R6.4)	鉄道事業者が行う安全性の向上のために必要な設備整備等に要した経費の一部を国と協調して補助する。	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
15	同上	伊賀市 伊賀市四十九町3184番地	22,534 (R6.4)	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
16	同上	一般社団法人養老線管理機構 岐阜県大垣市丸の内2丁目29番地	20,696 (R6.4)	鉄道事業者が行う安全性の向上のために必要な設備整備等に要した経費の一部を国、沿線市町と協調して補助する。	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上
17	同上	伊勢鉄道株式会社 鈴鹿市桜島町1丁目20番地	51,000 (R6.4)	鉄道事業者が行う安全性の向上のために必要な設備整備等に要した経費の一部を国と協調して補助する。	同上	同上	同上	同上	同上	同上	広域鉄道維持確保対策事業費

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
18	鉄道施設耐震補強等事業費補助金	近畿日本鉄道株式会社 大阪市天王寺区上本町6丁目1番55号	33,717 (R6.4)	鉄道事業者が行う安全性の向上のために必要な設備整備等に要した経費の一部を国、沿線市町と協調して補助する。	(目的・理由) 鉄道事業者の安全な鉄道輸送の確保を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 地域住民にとって必要不可欠な公共交通機関である鉄道の安全性の向上を図る。	交通政策課	総務費	地域振興費	交通政策費	生活交通活性化促進事業費
19	地域交通体系整備費補助金	伊勢鉄道株式会社 鈴鹿市桜島町1丁目20番地	124,910 (R6.4)	伊勢鉄道株式会社の設備整備等に要した経費を沿線市町と協調して補助する。	(目的・理由) 鉄道事業者の経営の円滑化及び安全な鉄道輸送の確保を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 地域住民にとって必要不可欠な公共交通機関である鉄道の安全性の向上および運行の維持・確保を図る。	同上	同上	同上	同上	広域鉄道維持確保対策事業費
20	地域間幹線系統確保維持費補助金	三重交通株式会社 津市中央1番1号	344,605 (R7.3)	乗合バス事業者が運営する地域間幹線バス路線の欠損額及び車両購入の減価償却費にかかる補助対象経費に対し、補助する。	(目的・理由) 地方バス運行の維持を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 地域住民にとって必要不可欠な公共交通機関であるバス路線の維持・確保を図る。	同上	同上	同上	同上	生活交通活性化促進事業費
21	高齢者等の移動手段確保総合対策事業費補助金	未定 (県内市町)	未定 (未定)	人口や既存の公共交通機関の状況等をふまえ、地域内交通ネットワークの構築に取り組み市町をモデル的に選定し、重点的な支援を行う。	(目的・理由) 地域内交通ネットワークを構築し、日常生活で必要となる移動手段の確保を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 地域住民にとって必要不可欠な生活交通ネットワークの維持・確保を図る。	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
22	スポーツ団体等 活性化補助金	公益財団法人三重 県スポーツ協会 鈴鹿市御園町1669 番地	19,439 (R6.4)	三重県スポーツ協会の事 業に要する経費を補助す る。	(目的・理由) 三重県スポーツ協会の 事業活動を助成すること により、アマチュアスポ ーツの健全な普及振興と 青少年の健全な育成を 図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補 助金等交付要綱	外部(不)経済 三重県スポーツ協会は、 本県のアマチュアスポ ーツを統轄する団体であり、当 該団体の事業活動経費を 補助することにより、アマ チュアスポーツの健全な普 及振興と青少年の健全な 育成を図るものであること から、公益性を有する。	スポーツ推 進課	総務費	スポ ーツ推 進 費	スポ ーツ推 進 費	地域スポ ーツ推 進事業 費
23	同上	一般財団法人三重 県武道振興会 津市北河路町19番 地1	11,836 (R6.4)	三重県武道振興会の事業 に要する経費を補助する。	(目的・理由) 三重県武道振興会の事 業活動を助成すること により、アマチュアスポ ーツの健全な普及振興と青 少年の健全な育成を 図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補 助金等交付要綱	外部(不)経済 三重県武道振興会は、各 種の武道大会や武道教室 を開催しており、当該団体 の事業活動経費を補助す ることにより、アマチュアス ポーツの健全な普及振興 と青少年の健全な育成を 図るものであることから、 公益性を有する。	同上	同上	同上	同上	同上

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
24	レガシーを活用したみえのスポーツ支援事業補助金	未定	未定 (未定)	三重とこわか国体・三重とこわか大会の会場施設等を活用して市町・競技団体等が実施する、大規模大会等の誘致・開催、スポーツを通じたまちづくり等に要する経費を補助する。	(目的・理由) 市町・競技団体等が実施する大規模大会の誘致・開催事業等を支援することにより、スポーツの振興やスポーツを通じた地域の活性化を図る。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	外部(不)経済 市町・競技団体等の事業経費を補助することにより、本県のスポーツの振興やスポーツを通じた地域の活性化を図るものことから、公益性を有する。	スポーツ推進課	総務費	スポーツ推進費	スポーツ推進費	地域スポーツ推進事業費
25	新三重武道館整備費補助金	津市 津市西丸之内23番1号	20,251 (R6.4)	新三重武道館の整備に係る元利償還金等の一部を補助する。	(目的・理由) 新三重武道館の整備に係る経費を補助することにより、本県のさらなる武道振興に寄与する。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	外部(不)経済 新三重武道館の整備で、本県のさらなる武道振興が図られることにより、アマチュアスポーツの健全な普及及び振興と青少年の健全育成に寄与するものことから、公益性を有する。	同上	同上	同上	スポーツ施設費	スポーツ施設整備運営費
26	三重県競技力向上対策本部負担金	三重県競技力向上対策本部 津市広明町13番地	310,134 (R6.4)	本県競技スポーツ水準の向上を図るために要する経費を負担する。	(目的・理由) 三重県競技力向上対策本部の事業経費を負担することにより、本県競技スポーツ水準の向上を効果的に推進する。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	外部(不)経済 本県競技スポーツ水準の向上を図ることで、本県選手がオリンピック競技大会や国民スポーツ大会等の国内外の大会で活躍することは、県民に夢や感動を与え、一体感の醸成につながるものであることから、公益性を有する。	競技力向上対策課	同上	同上	スポーツ推進費	競技力向上対策事業費

番号	補助金等の名称	補助事業者等の氏名及び住所	交付予定額 (予定時期)	事業内容	交付の目的、根拠及び理由	公益性の判断及び理由	課(室)名	支出科目			
								款	項	目	事業名
27	離島航路整備事業補助金	鳥羽市 鳥羽市鳥羽3丁目1番1号	35,134 (R7.3)	離島航路事業者に対して、欠損額の一部を補助する。	(目的・理由) 離島航路事業の維持改善を図り、離島地域の振興及び離島住民の生活の安定と向上に資する。 (根拠) 地域連携・交通部関係補助金等交付要綱	シビルミニマム 離島と本土を結ぶ唯一の交通機関である離島航路を確保する。	南部地域振興企画課	総務費	地域振興費	地域振興費	過疎・離島等振興対策費
28	離島航路船舶新造事業補助金	同上	38,500 (R6.10)	船舶新造にかかる費用の一部を補助する。	同上	同上	同上	同上	同上	同上	同上